

カンキツ新品種の育成

果樹試験場

[研究期間]

平成 25～27 年度

[背景とねらい]

近年、温暖化によると思われる気象変動の影響により、カンキツ類を高品質かつ安定的に生産することが難しくなっています。特に 12 月以降に収穫期をむかえる品種では、浮皮（果皮と果肉の間に空間ができて、貯蔵性が低下する生理障害）や豊作年と不作年を繰り返す隔年結果などが問題となっています。

そこで果樹試験場では、有望な中晩生カンキツ（以下「中晩柑」）や浮皮の少ない晩生温州ミカンの育成に取り組みました。また、平成 26 年に品種登録された中生温州ミカン‘きゅうぎ’については、詳しい栽培特性を把握するため、現地において高接ぎ調査を実施しました。さらに、平成 24 年に品種登録された‘YN26’については、生育特性を調査しました。

[研究の成果]

1. 食味が良く、皮が剥きやすい品種を育成するために、‘清見’に‘中野3号ポンカン’を交配し、3年間の調査により、中晩柑交雑個体‘和果試交雑第1号’を選抜しました（図1、表1）。1月に収穫可能であり、果実は扁平で浮皮は少なく、果皮は鮮橙色です。また、果肉の食感がさくさくしているのが特徴です。



図1 ‘和果試交雑第1号’
の果実

表1 ‘和果試交雑第1号’と対照品種の果実品質（平成 28 年 1 月）

| 品種・系統名 | 横径 (mm) | 果実重 (g) | 浮皮度 | 糖度 (Brix) | クエン酸 含有率 (%) |
|---------------|------------|------------|-----|--------------|--------------------|
| 和果試交雑第1号 | 79.4 | 203 | 0 | 12.9 | 1.12 |
| 和果試交雑第1号(二代目) | 77.7 | 189 | 0.1 | 13.6 | 1.19 |
| 清見 | 83.3 | 250 | 0 | 11.0 | 1.42 |
| 中野3号ポンカン | 72.3 | 155 | 0.5 | 13.9 | 0.86 |
| はるみ | 87.1 | 254 | 0.3 | 13.0 | 0.87 |

※「浮皮度」は0(無)～3(甚)の4段階で調査した平均値

2. 有望な晩生温州ミカンの枝変わりについて、現地に情報提供を呼びかけ、3年間の調査により、‘尾張系’の一樹変異個体‘18-2’を選抜しました（図2、3）。樹はややわい性で、果実はやや小玉で浮皮が少ないのが特徴です。



図3 左から‘18-2’、‘林’、‘尾張系’、
‘大津4号’の果実断面

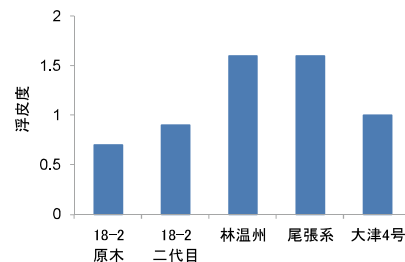


図3 ‘18-2’と対照品種の浮皮度（平成 27 年 12 月）

3. ‘きゅうき’は、育成地（有田市宮原町）と異なる園地条件であっても中生の主力品種‘向山温州’より浮皮程度が小さいことが明らかになりました（図4、5）。また、「きゅうきの基本特性に関する資料」を作成し、果樹試験場ホームページに掲載しました。
<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070109/gaiyou/002/hinsyu/hinsyu.htm>



図4 ‘きゅうき’と‘向山温州’の
 果実比較(平成27年12月、湯浅町田)

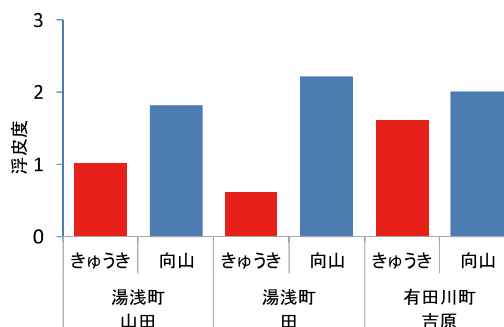


図5 各調査園地における‘きゅうき’と
 ‘向山温州’の浮皮度(平成27年12月)

4. ‘YN26’は、親品種である‘ゆら早生’と比較して、根の量が多く樹冠の拡大が早いことが明らかになりました（図6、7）。また、特性を示した「温州ミカン新品種‘YN26’の品種特性と栽培上の注意点」を作成し、果樹試験場ホームページに掲載しました。
<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070109/gaiyou/002/hinsyu/hinsyu.htm>

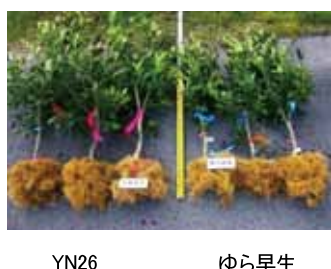


図6 ‘YN26’と‘ゆら早生’3年生苗木
 (平成26年1月)

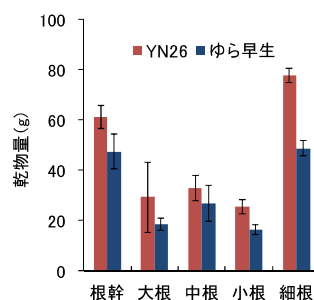


図7 ‘YN26’と‘ゆら早生’の根の乾物重
 注)パーは標準偏差を示す

[成果のポイントと活用]

1. ‘和果試交雑第1号’は1月に収穫可能な中晩柑です。今後も調査を継続し、平成28年度中に品種登録出願予定です。
2. ‘18-2’は浮皮が少なくやわわい性の晩生ミカンです。今後も、調査を継続し品種登録出願に向けたデータ収集を行います。
3. 今回の調査園地では、‘きゅうき’は‘向山温州’と比較して果実品質は同程度で浮皮が少ない傾向でした。当品種は和歌山県内のみで栽培可能です。
4. ‘YN26’は‘ゆら早生’と比較して、樹勢がやや強く樹冠拡大が早いことが明らかになりました。現在、県内各地の苗木園地において、果実品質と気象要因との関係を明らかにするため、調査を実施中です。当品種は和歌山県内のみで栽培可能です。

(問い合わせ先 TEL: 0737-52-4320)